

# 佐渡の大自然で楽しい体験交流

7月28日から3日間、新潟都市圏総合整備推進協議会（新潟市、横越町など7市町で構成）による小学生体験交流事業の体



験キャンプが佐渡二つ亀周辺で行われました。7市町の小学4年生から6年生まで72名が参加し、横越町からも6名が参加しました。佐渡では8班に分かれ、他の市町の小学生とも一緒に友だちになり、大学生をリーダーに海水浴やキャンプファイヤーで思いきり遊んだほか、夕食のカレー、イカの一夜干し、海草の標本を作ったり、佐渡おけさなどを習いました。佐渡の大自然に触れ、みんないきいきとして楽しんでいました。

## 「つらせ」一般公開

- ▼日時 9月11日(出) 午前9時～午後3時
- 9月12日(日) 午前9時～午後4時
- 自由にご覧になれます。
- ▼場所 新潟東港 東埠頭
- ▼問い合わせ 自衛隊新潟地方連絡部 ☎229-3232

## 動物フェスティバル開催

- ▼日時 9月23日(祝) 午後0時30分～3時15分
- ▼会場 粟島公園（五泉市）
- ▼内容 雨天の場合は五泉市総合会館
- ▼案内 盲導犬・警察犬の模範演技、乗馬体験、里親探し、動物なんでも相談
- ▼問い合わせ 動物愛護協会新津支部（新津保健所内）☎250-2215171

## 新潟地域 広域市町村圏 施設めぐり 参加者募集

横越町など18市町村で構成する新潟地域広域市町村圏協議会では、広域施設めぐりを開催します。

- ▼日時 10月7日(木) 横越町役場に8時45分集合
- ▼コース 湯東村歴史民俗資料館、樋口記念美術館、エチゴビール（試飲）、巻町城山運動公園、西川町ふれあい公園、新潟ふるさと村
- ▼定員 横越町などの4市町から40人

## 耳よりな情報 広域情報ネットワーク

### <両津市>

#### 佐渡レガッタ開催

多くの人たちに、地域の特性と環境にあったボート競技の普及を図ることを目的に、佐渡レガッタを開催しますので、熱戦をご覧ください。

- ▶日時 9月12日(日) 午前8時開会 競技開始：8時45分
- ▶会場 加茂湖漕艇場
- ▶内容 マスターの部、ビギナーの部、プロの部、レディスの部、チャイルドの部、ミックスの部、それぞれ500m、3艇レース
- ▶問い合わせ 両津市教育委員会 ☎0259-27-7080（両津市総合体育館内）

### <豊栄市>

#### 福島潟自然文化祭

- ▶日時 9月23日(祝) 午前9時30分～午後5時
- ▶会場 水の公園福島潟
- ▶内容 今年のテーマは「水」。ちゃりんこラリー、健康ウォーク、湯鍋コンテスト、湯端コンサート、水の講演会・福島潟源流探検レポート、特産品の販売・体験コーナーなど、楽しい催し物がいっぱいです。
- ▶問い合わせ 福島潟自然文化祭実行委員会 ☎387-1491（豊栄市文化振興課内）

## パソコン入門講座

- ▼参加費 大人1,450円、高校生450円、中学生以下250円
- ▼申込み 9月16日(木)までに、官製往復はがきに参加希望者の住所、氏名、年齢、電話番号、「広域施設めぐり参加希望」と記入し、横越町役場企画財政課へお申し込みください（当日消印有効）。往復はがき1枚につき2名まで応募できます。なお、小学生以下は保護者の同伴をお願いします。昼食、雨具、筆記用具は各自でご用意ください。
- ▼問い合わせ 企画財政課 ☎385-2111
- ▼定員 定員40名（定員になり次第締切）
- ▼内容 ワープロ（Word）、表計算（Excel）、インターネットの基礎
- ▼費用 無料
- ▼申込期限 9月24日(金)
- ▼申込先 新潟国際情報大学 ☎239-3111

## ふる里物語 町史編さんだより 58

### 大正2年8月の「木津切れ」と

#### 横越村会（議会）の対応

大正2年（1913）8月28日に発生した水害は、阿賀野川・信濃川を含む下越一帯に大被害を与えました。この時、小阿賀野川沿いの下木津地区が破堤して、横越村を含む亀田郷の大部分が大きな被害を被りました。

横越村会は被害者救済対策のため、第四回村会を8月30日午前11時に、議題「大正二年八月二十八日午前十二時大字木津破堤ノ為メ、家屋流失倒潰及人畜死傷等最悲惨ノ極境ニ立至リタルニ付キ、差シ懸リ慰問料贈呈ノ件ニ付」をもって開会しました。出席者は17名（定員18名）でした。

提案に満場一致で賛成し、委員会審議の結果、「先年大字沢海火災当時ニ於ケル前例ヲ参照シ、金八拾円ヲ贈与スルコトニ決ス」を「満場異議ナク可決確定シ」閉会しました。

注 沢海火災：明治42年（1909）4月19日発生、50戸余焼失

第五回村会は9月28日午前11時に開会。出席議員11名。村歳出歳入決算報告等の定例の村会でした。緊急に8月の水害被害復興に村費経費支出請願の件について、まず議長から「大字木津五本榎破堤ノ為メ流失セル大字二本木、木津、字藤山各地区内ノ間道又ハ連絡等に架設シテ

リシ橋梁、村費ヲ以テ架替又ハ修繕を要シタキ旨関係区長ヨリ申出アリ」との提案がなされました。これに対し、補助することに全員の賛成があり、「架替又ハ修繕費ノ総額ニ対シ何分ノ補助ヲナスカ」について、委員3名を任命して協議し、委員会報告「架換又ハ修繕費ノ総額ニ対シ六分の補助ヲナス」ことを満場異議なく可決しました。この年8月の水害以後、村会として水害被害の対応は以上の2つでした。

（出典「大正二年度第四回・第五回村会決議録 横越村役場」）

7月資源ごみ収集実績		9月資源ごみ収集日	
品名	重量	地区	収集日
空きびん	7.2 t	横越・川根谷内	14日(火)
空き缶	6.1 t		28日(火)
古紙	24.4 t	その他の地区	9日(木)
合計	37.7 t		30日(木)

平成10年8月4日の集中豪雨で、大正2年の水害時と同様に冠水した藤山の前郷農道

（藤山・串田修平氏提供）

「破堤ノ惨憺タル状況ニ付テハ元弁ヲ要セズ、先ズ以テ最モ悲惨ノ極メタル流失家屋及ビ倒潰家屋其ノ他ノ罹災者ニ対シ、慰問料ヲ贈与セントス」と提案されました。これに対して、「急速ヲ貴ブノ必要アルニヨリ、委員三名ヲ挙ゲ之レニ一任」の

## 短歌

（公募作品）

阿賀岸辺静かな明けの葦原の四方をふるわし葦切を聴く  
名古屋城相撲合間に映つされる昔思はず高き名城  
新緑に花と小鳥に迎えられ生き返さるゝ山の見晴らし  
はるばると見ゆる河原の緑こく生命の燃ゆる夏は来にけり  
趣味をもち心ひらけと論されて初心の歌詠むたゞひたすらに  
梅雨明けのそこまで来たか初鳴きの蟬を聞きつつ心なごみぬ  
八十路越え体重なおも軽くなり湯宿の秤りそつと上がりぬ  
茄子漬を作れば色良く紺の色夏に食する素朴の味を  
朝顔の花一つだけ開きたり昼顔にも似た小さき花を  
緑り葉を分けて咲きたる白い花梔子今朝は地上に散りぬ

中村 正喜  
加藤 正喜  
小田 正喜  
佐藤 正喜  
鈴木 正喜  
田辺 正喜  
伊藤 正喜  
波谷 正喜  
清水 正喜  
高橋 正喜